

# 東日本大震災に関する関西大学の取り組み

被災された方々への支援活動を展開 「いま、私たちにできること」を考えよう

東日本大震災により多くの方々が被災され、その被害は広範囲に及んでいる。関西大学では地震発生以来、被災者の皆様とともにこの苦難を乗り越えるための対応を開始し、今後も継続していく。その取り組みの一部を報告する(大学ホームページに順次掲載)。

## ◆被災学生(「福島第一原子力発電所事故」による被災を含む)に対する経済的支援

関西大学では、本学被災学生に対する経済的支援を図るため、「災害救助法適用地域」における被災の状況に応じて、次の特別措置を講じている。

区分	給付基準	授業料等の減免	修学支援助成金	植田特別奨励金
1	家屋の全壊、焼失または流失、あるいは学費支弁者の死亡等の被災者(「福島第一原子力発電所から半径30km圏内に居住する被災者」含む)	通年全額	36万円×2学期	24万円×2学期
2	家屋の半壊などの被災者(原発区分なし)	通年半額	24万円×2学期	24万円×2学期
3	家屋の一部損壊などの被災者(「上記1以外の福島県に居住する被災者」含む)	-	12万円×2学期	6万円×2学期

## ◆被災された一般の方々への「関西大学震災義援金」

被災された一般の方々を支援するため、義援金受入口座を開設し、災害救済のための義援金を広く募っている。関西大学震災義援金は日本赤十字社を通じて被災地に送り、救援活動や復興支援活動に役立てていただく。5月10日に4月末までに集まった義援金6,700,927円を日本赤十字社に送金した。5月18日現在の義援金額は82件、6,765,927円(日本赤十字社への送金分含む)。この義援金は、日本赤十字社が発行する受領証をもって、寄付金控除を受けることができる。

【お問い合わせ先】学校法人関西大学 財務局出納課  
電話：06-6368-0022

## ◆関西大学の被災学生への「関西大学災害特別義援金」

本学被災学生の学業等を支援するため、「関西大学災害特別義援金」を本学の理事、監事、顧問、評議員、職員、校友会代議員、教育後援会・千寿会委員に募っている。5月18日現在の義援金額は1,278件、23,876,020円。本学被災学生には、関西大学災害特別義援金から「修学支援助成金」を給付した。この義援金は、恒常的募金(学の実化促進募金)として受け入れるため、寄付金控除を受けることができる。

【お問い合わせ先】学校法人関西大学 財務局資金課  
電話：06-6368-1137

## ◆卒業式・入学式、教育後援会総会で募金活動

3月19日の学部卒業式および4月1日の学部入学式、5月15日の教育後援会総会において、ボランティアセンター学生スタッフを中心とする本学学生が募金活動を実施した。



## ◆ボランティアセンターが被災者支援のための募金箱設置

ボランティアセンターが学内各事務室(千里山・高槻・高槻ミュージズ・堺の各キャンパス)に募金箱を設置した。期間は3月23日～4月30日。募金箱設置場所は全23カ所。集まった募金は、学部卒業式・入学式・教育後援会総会および学生諸団体による募金とあわせて1,728,203円となった。このうち1,001,702円を日本赤十字社に送金し、726,501円を本学の被災学生に対する「関西大学災害特別義援金」として役立てる。



## ◆高槻ミュージズキャンパスで緊急シンポジウムを開催

3月30日に高槻ミュージズキャンパスで、東日本大震災に関する緊急シンポジウムを開催した(社会安全学部主催、高槻市後援)。地震や津波、原発事故、ボランティアなど各分野を専門とする社会安全学部教員による講演、行方不明者の捜索活動にあたった高槻市消防本部の職員による現地での活動報告に続き、パネルディスカッションで今後の対策等を検討した。会場のミュージズホールは満席となり、別教室に映像を中継。600人を超える一般市民や学生らが参加したシンポジウムは、U-Streamを通じてインターネット上にライブ配信された。



当日、社会安全学部生有志が被災地支援募金活動を行い、集まった金額158,640円を日本赤十字社に送金した。

## ◆「いま、私たちにできること」を考える」ミーティング(継続中)

東日本大震災被災者支援に関するボランティアセンターの取り組みの現状を報告し、「いま、私たちにできること」を参加者と一緒に考えるミーティングを開催している(3月30日、4月14・26日、5月16日)。ボランティアセンターでは、息の長い支援活動を考えており、日々状況が変化する被災者支援に関する情報をセンター内掲示板に掲出している。

4月26日には、被災地を視察した本学教員からの「救援活動視察報告会」を実施した。

## ●関西大学上海オフィスを開設



関西大学は、海外協定大学の一つである復旦大学日本研究センター内に関西大学上海オフィスを設置し、3月27日に開所式を挙行了。同じく海外協定大学であるベルギーのルーヴェン・カトリック大学内の「関西大学日本・EU研究センター」に次ぐ、2カ所目の海外拠点が生じた。

同オフィスには、現地スタッフ1人を置き、教育・研究内容の紹介など、本学の情報発信を積極的に展開するほか、本学と中国の大学間の教育・研究交流や中国在住の本校校友間の連携支援などを行う。また、資料コーナーを設置し、学部・大学院および2012年4月開設予定の関西大学留学生別科の留学情報も提供する。



## ●大阪市北区役所と連携協力協定を締結



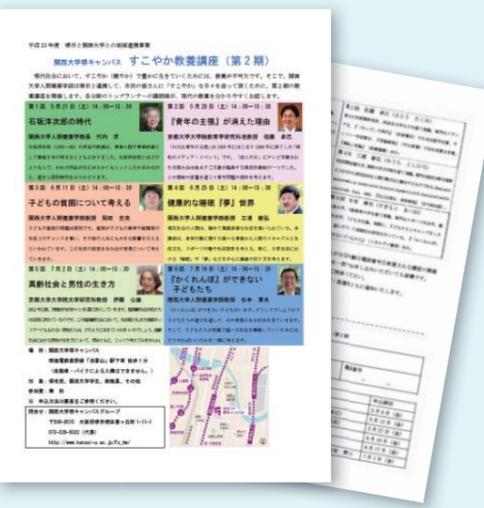
関西大学と大阪市北区役所は2月24日、連携協力に関する協定を締結した。今後、地域コミュニティの推進とまちづくり、教育・文化の振興、地域産業の振興、地域における人材育成、学術研究機能の向上などについて、相互に必要な支援と協力を行う。

大阪市北区には本学天六キャンパスがあり、2010年7月に天神橋筋商店街に社会的信頼システム創生センターの研究拠点である「楽歳天三」、地域連携拠点の「楽市楽座」を設置している。

## ●堺市との地域連携事業「すこやか教養講座」開催

関西大学人間健康学部では、堺市と連携し、堺市民などを対象とした「すこやか教養講座」を開催している。好評だった第1期(1月～3月)に続いて、第2期は次の6講座を開催する。

5月21日「石坂洋次郎の時代」竹内洋・人間健康学部長、5月28日「『青年の主張』が消えた理由」佐藤卓己・京都



大学大学院教育学研究科准教授、6月11日「子どもの貧困について考える」岡田忠克・人間健康学部教授、6月25日「健康的な睡眠『夢』世界」三浦敏弘・人間健康学部教授、7月2日「高齢社会と男性の生き方」伊藤公雄・京都大学大学院文学研究科教授、7月16日「『かくれんぼ』ができない子どもたち」杉本厚夫・人間健康学部教授

参加費無料。事前申し込みが必要。

【お問い合わせ】関西大学堺キャンパスグループ 電話：072-229-5022(代表)

## ●大阪エヴェッサと「堺キャンパス開設記念ゲーム」開催



関西大学は3月19日と20日、プロバスケットボールbjリーグチーム「大阪エヴェッサ」協力のもと、bjリーグ2010-2011シーズンオフィシャルゲームズ「関西大学堺キャンパス開設記念ゲーム」を堺市金岡公園体育館で開催した。本学と堺市との地域連携事業の一環として、両日の試合に市民(堺市内在住・在勤・在学の方)を招待した。

試合会場では人間健康学部の学生が、会場の設営・撤収など試合運営をサポートした。また、学生企画による関西大学ブースも出展し、来場者との交流の場を提供した。